テーマ：自然（春）

２歳児クラス　１５名

活動　朝顔栽培

種が生長していく様子を見たり葉っぱやつるが伸びたり増えていく様子に興味、関心を持ったりする。気づいたことや感じたことを友達や保育者に伝えたり一緒に喜んだりして栽培を楽しむ

準備したもの　絵本、写真、土、朝顔の種、肥料、じょうろ、すり鉢等

〇活動内容

園庭や散歩先の花壇に咲いている花に興味、関心を持つ子が多くいた。クラスでも土作り、種植えから行なってプランターで育てる。

〇保育者の問いかけやアプローチ

散歩へ行く前に写真を見せたり、『はなのさくえほん』を読んだりした。図鑑なども使い成長過程を見せたりして花への興味を持ってもらう。

〇子どもの様子

種植えから葉が出るまで３日ほどだった為、毎日変わっている様子を楽しみに水やりを行なっていた。花が咲くまでに時間がかかってしまったが、花が咲くと大喜びで友だちと共有する姿が見られた。また、色水遊びを行なっている時期だったこともあり、５歳児がオシロイバナで色水を作っていたことを見ていた子が朝顔でも出来ないかな？と言う声が上がった。しぼんだお花ですり鉢を使い作ってみると、保育者がいつも作っていた物よりも大切に使う姿が見られた。花が咲き終わると、黄緑の種が茶色になっていくのに気づく子が出てきた。黄緑の種が渇くと茶色になり種になっていることを伝え種を収穫した。これはつぼみ組になってからまた植えようね。と楽しみにしている様子だった。

振り返り

葉が出たのは早かったが、花になるまでに時間がかかった。夏過ぎ～花が咲き始め水やりをする回数が多くなった分、咲いた時には子どもたちとたくさん喜びを共有できた。種から育て芽が出て葉、つるが伸び花が咲き種に戻る事を知れたきっかけになった。種になった事でまた来年育てたいという気持ちが育ちいい機会になったと思う。